


平成 24 年度特定地域再生事業費補助金事業の概要書【テーマ：①ハ・②イ】

1 事業名	篠山市創造都市推進計画策定調査事業	
2 事業主体の名称	兵庫県篠山市	
3 新規・継続	新規	
4 補助金事業の期間	平成 24 年 1 2 月 ～ 平成 25 年 3 月	
5 特定地域再生事業費補助金の種類	特定地域再生計画策定事業	○
	特定地域再生計画推進事業	
6 事業の概要（全角 500 文字以内）	<p>地域資源（文化資源、食の資源、創造資源）を活かして、人口減少局面における中山間地の課題群（少子高齢化、耕作放棄地の増加、山林の荒廃、獣害、空き家の増加、限界集落の発生、農業の担い手の不足、商店街の衰退、工場の撤退、雇用の確保、生活交通サービスの確保、地域医療の確保、伝統文化や伝統工芸の喪失など）に対して、総合的・創造的に対処する地域再生戦略を策定する。</p> <p>このため、まず、篠山市において、この 3 年間に試行した①空き家活用、②6 次産業化、③着地型観光などの事業実績をもとに、公民連携の地域再生手法について調査分析を行い、その事業手法を確立する。次に、この①～③の事業規模を同時に拡大し、「地域内発型の総合産業」としての新たなステージを構築するため、(A)異業種混合型の事業協同組合の設計、(B)地域資源の活用策の検討、(C)創造人材の育成等の推進体制の整備について調査研究する。</p> <p>そして、以上を基に、平成 25 年から展開する創造的な農村づくりに関する「篠山市創造都市推進計画（案）」を取りまとめる。また、以上の成果は、他地域へのノウハウ移転を想定して取りまとめる。</p>	

平成24年度特定地域再生計画策定事業の内容説明書【テーマ：①ハ・②イ】

1 調査等の名称	
	篠山市創造都市推進計画策定調査事業
2 事業主体の名称	
	兵庫県篠山市
3 地域の課題等	
<p>(1) 人口や社会経済の状況</p> <p>人口は平成14年頃をピークに減少傾向にあるが、ここ数年は、自然減は拡大傾向にあるものの、社会減は抑制傾向にある。しかし、今後も人口減少が進み、少子高齢化による逆三角形の人口構成が顕著になると推計される。</p> <p>また、地区別に分析すると、人口が偏在する傾向にあり、転入、転出に加えて、周辺地区から中心地区への市内転居が偏在を生み出す要因になっている。</p> <p>産業構造は、典型的な農村であり、大規模事業者が少ないため、第3次、2次就業者の多くは、阪神間へ通勤している。また、主要な産業である農業を取り巻く環境は厳しく、耕作放棄地の増加や担い手の不足、獣害被害など課題が多い。</p>	<p>(位置図)</p> 
<p>(2) 地域課題</p> <p>少子高齢化、耕作放棄地の増加、山林の荒廃、獣害、空き家の増加、限界集落の発生、農業の担い手の不足、商店街の衰退、工場の撤退、雇用の確保、生活交通サービスの確保、地域医療の確保、伝統文化や伝統工芸の喪失 など</p> <p>(3) 地域資源</p> <p>■文化資源 歴史的建築物・町並み、丹波焼、デカンショ祭、春日神社能舞台など</p> <p>■食の資源 丹波黒大豆、山の芋、丹波栗、丹波松茸、ポタン鍋など</p> <p>■創造資源 地域の職人（建築、工芸、農業など）、創造的な活動など</p>	<p>4 調査の作業フロー</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>1st Stage</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年間の実績を整理 <ul style="list-style-type: none"> ① 空き家活用 ② 6次産業化 ③ 着地型観光 <p style="text-align: center;">↓ 調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業手法の確立 </div> <p style="text-align: center; color: blue; font-size: 2em;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>2nd Stage</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まるごと産業化 <p style="text-align: center;">↓ 検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推進体制の整備 A 事業協同組合の設立 B 地域資源の活用策の検討 C 創造人材の育成 </div>

5 調査等の基本方針

◎基本方針

地域再生に関するこれまでの活動成果の取りまとめとその評価を実施したうえで、人口減少局面における中山間地の課題群に対して、地域資源を活かしながら、横断的・総合的・創造的に対処する地域再生戦略を策定する。

■これまでの主な活動成果

- ・ 「篠山再生計画」の策定（平成20年11月）と行財政改革の推進
※将来負担比率全国ワースト5からの財政再建を実施中
- ・ 「丹波篠山築城400年祭」の開催（平成21年4～10月）
※一過性の集客イベントとせず、市民によるまちづくりの祭（106事業）を展開
- ・ 「これから100年のまちづくり委員会」の設置運営（平成20年10月～）
※景観法の導入、歴史文化基本構想の策定、限界集落再生事業などを実施
- ・ 「篠山市創造都市推進準備委員会」の設置運営（平成23年8月～）
※目標：ユネスコ創造都市ネットワーク（クラフト&フォークアート部門）申請準備中
※平成24年10月に、全国「創造農村フォーラム」を篠山市で開催

■人口減少局面における中山間地の課題群

少子高齢化、耕作放棄地の増加、山林の荒廃、獣害、空き家の増加、限界集落の発生、農業の担い手の不足、商店街の衰退、工場の撤退、雇用の確保、生活交通サービスの確保、地域医療の確保、伝統文化や伝統工芸の喪失など

■篠山市の地域資源

- ・ 文化資源：歴史的建築物・町並み、丹波焼、デカンショ祭、春日神社能舞台など
- ・ 食の資源：丹波黒大豆、山の芋、丹波栗、丹波松茸、ポタン鍋など
- ・ 創造資源：地域の職人（建築、工芸、農業など）、創造的な活動など

6 体制

◎調査の実施体制

- ・ 「篠山市創造都市推進委員会」を設置して、調査を実施
- ・ 事務局（作業チーム）は、篠山市、一般社団法人ノオト、NPO 法人都市文化創造機構の3者で構成
- ・ 必要に応じて、関係する自治会、工務店、加工組合、大学などにヒアリングを実施

篠山市創造都市推進委員会の構成員(案)

役割	氏名	所属
委員長	中西 薫	丹波篠山観光協会会長、丹波古陶館館長
副委員長	久下隆史	歴史家、元日本民族学会評議員
委員	河合雅雄	京都大学名誉教授
〃	高田 理	神戸大学大学院農学研究家地域連携センター長
〃	村上裕道	兵庫県教育委員会文化財課長
〃	酒井隆明	篠山市長
〃	前川修哉	篠山市教育委員会教育長
〃	その他11名(JA、商工会、森林組合、飲食業組合、陶磁器協同組合など)	
アドバイザー	佐々木雅幸	大阪市立大学教授
〃	喜多俊之	プロダクトデザイナー
〃	石毛直道	国立民族学博物館名誉教授

7 調査の内容

1. 事業手法の確立

築城 400 年祭以降の 3 年間に試行した地域再生事業（①空き家活用、②6次産業化、③着地型観光など）の実績をもとに、公民連携の事業手法、事業スキームについて調査分析を行い、その事業手法を確立する。

※ 成果の取りまとめに際しては、今後の事業拡大（産業化）、他地域へのノウハウ移転に資するよう分かりやすく整理する。

①空き家活用

- ・ 篠山市とノオトが協働して、空き家となった古民家等の活用を実施した。
- ・ 36 棟（店舗等 20 件）の実績をもとに、空き家の流動化、事業者マッチング、低コスト改修、資金調達、サブリース等の事業手法について調査研究し、整理する。
- ・ 病院跡地、空き公共施設、空き地等の活用手法についても検討する。

②6次産業化

- ・ 地場レストラン、オーガニックカフェ等を 13 店舗開業（予定を含む）した。
- ・ これに加え、より地産地消、地域資源を生かした 6 次産業化について、ジビエ料理の開発（鹿肉など）、里山の 6 次産業化（山菜、果樹、バイオマスなど）、在来品種の栽培（金ゴマ、マコモなど）などを中心に持続可能な事業展開の確立にむけて調査研究し、整理する。

③着地型観光

- ・ 3 年間に数えきれない件数の農業体験・文化体験プログラムを開発・実施した。
- ・ 伝建地区「まちなみアートフェスティバル」など市民による交流事業が定着した。
- ・ こうした経験を踏まえ、新たな着地型観光の事業展開の確立にむけて調査研究し、整理する。

◎一体的事業展開

- ・ これら事業について、3 年間の実績をもとに、その一体化手法について調査研究し、基本的な考え方を整理する。

公民連携による空き家活用事業等の実績(例)

名称	用途	①空き家活用	②6次産業化	③着地型観光	事業主体
集落丸山	オーベルジュ	農家3棟	里山フレンチ	宿泊・農業体験	NPO 集落丸山
天空農園	セミナーハウス	茅葺民家2棟	農園・囲炉裏	宿泊・里山体験	里山文化研究所
ささらい	複合店舗	庄屋・蔵4棟	地場レストラン	文化体験	ささらい
宿場町福住	創造産業群	町屋等10棟	ジビエ料理店	滞在・工芸体験	まちづくり協議会
小多田の家	就農研修	茅葺農家1棟	加工販売	滞在・農業体験	小多田生産組合

◎事業手法の整理イメージ

- ・個々に相違工夫して空き家活用等を実施しており、その手法も様々。
- ・これらを調査分析し、汎用性のある「基本的な手法・理論」を抽出する。

項目	取りまとめ内容等	調査対象
1. 資料収集整理	関係者ヒアリング、資料作成依頼	別紙「実績一覧表」
2. 空き家の流動化手法	・空き家バンク方式の限界 ・地域コミュニティ合意方式の有効性 ・事業者マッチングの考え方 ★「6次産業化」「着地型観光」導入の視点	・篠山市空き家バンク ・集落丸山 ・宿場町福住 など
3. 低コスト改修手法	・古民家改修の基本的な考え方 ・耐震設計、用途別の法規制内容など	・代表的な物件数ヶ所を選定
4. 資金調達手法	・収支計画の作成 ・補助金等活用の考え方	・集落丸山 ・小多田の家 など
5. サブリース手法	・(所有者＋市＋ノオト)の3者協定方式 ・事業者へのサブリース契約	〃

2. 推進体制の整備

地域再生を実現するためには、上述①～③の事業規模を同時に拡大し、「地域内発型の総合産業」としての新たなステージを構築する必要がある。

本調査では、こうした「まるごと産業化」に必要な事業協同組合の設計、地域資源の活用策の検討、創造人材の育成について調査研究し、平成25年から展開する実施計画として取りまとめる。

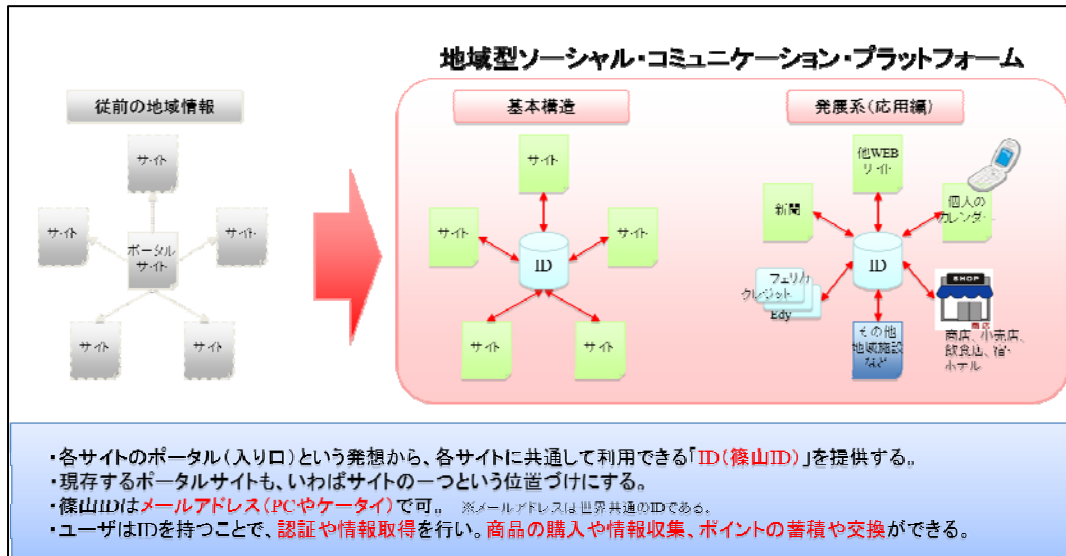
A. 事業協同組合の設計

- ・①～③の産業化を推進する事業体として、関係事業者が参画する異業種混合型・シナジー型の「事業協同組合」を計画する。
- ・他地域にも働きかけ、事業協同組合のネットワーク化（連合会）を目指す。
※設立に向けて合意形成を図る事業者
 - ①空き家活用：建築事務所、工務店、左官組合、NPO、不動産会社 など
 - ②6次産業化：農家、営農組合、加工組合、飲食業者、流通事業者 など
 - ③着地型観光：工芸家、デザイナー、着地型旅行代理店 など

B. 地域資源の活用策の検討

- ・地域内の文化資源、食の資源、創造資源の情報を収集してデータベース化。
- ・ソーシャルネットワークの形成も視野に入れて、地方における地域情報の収集と発信のあり方についても検討・調整する。
- ・上の①～③の「まるごと産業化」に向け、地域ブランド認証やインターネットを使った情報発信・販売の手法について検討・調整する。
- ・全国各地域での地域ブランド構築を目的として、「NPO 法人地域資源認証機構（仮称）」の設立を検討・調整する。
※安全安心な食の提供、文化財の保護活用、創造活動の顕彰などに貢献

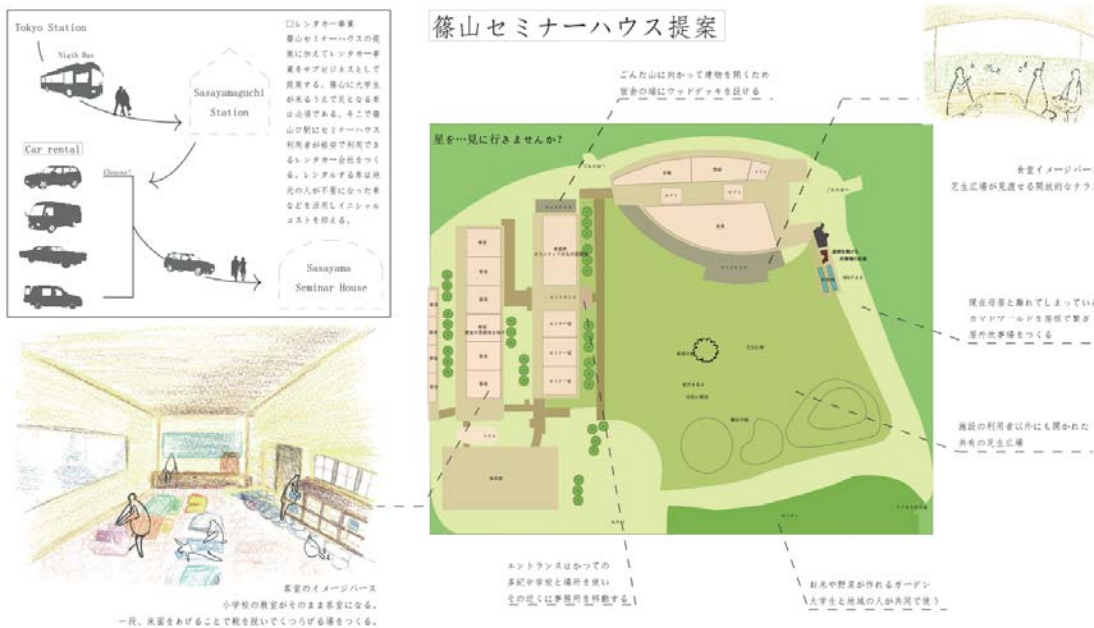
検討イメージ：地域に散在する情報（地域資源）を効率的に集約



C. 創造人材の育成

- ①～③の産業を支える人材を育成する機関として、「篠山工芸大学学校（仮称）」の設立について、以下の検討と合意形成を行う。
 - ※ 篠山技能高等学院、篠山左官研究会、神戸大学農学部等との連携
 - ※ 大工、左官、茅葺き、陶工などの職人集団を育成
 - ※ 6次産業化プランナー、旅行業務取扱主任者、ヘリテージマネジャー、エリアマネジャーなどのまちづくり人材も育成
 - ※ 廃校となった校舎の活用とともに、再生中の物件、農園、食品加工施設、窯元など実際の作業現場も含めた分散型の教育現場を想定

◎廃校活用計画(インターン生の提案事例)



3. 特定地域再生事業を含む地域再生計画の取りまとめ

以上の検討成果を基に、地域再生計画として、「篠山市創造都市推進計画（案）」を取りまとめる。

これらのうち可能なものについては「特定地域再生計画推進事業」として位置づけ、公民連携のもと事業を推進する。

地域再生計画(想定される主な事業の内容)

項目	事業内容	H25	H26	H27～	実施主体
■位置づけ					
地域再生計画	計画策定	◎策定	-	-	篠山市
ユネスコ創造都市ネットワーク	・ユネスコ登録申請 ・創造都市ネットワーク日本に加盟	◎申請 ◎加盟	-	-	篠山市
地域再生推進法人	・一般社団法人ノオトを指定 ・その他団体の募集	◎指定 募集	⇒⇒ 指定	⇒⇒	篠山市
■地域再生事業					
① 空き家の活用 (古民家等の再生)	・都市農村交流型(宿泊、カフェ等) ・集落営農型(新規就農受入等)	2店舗 1棟	+2 +2	+2 +2	篠山市 NOTE
② 6次産業化 (スローフード事業)	・6次産業化団体(認証支援) ・加工施設(開設)	3団体 1地区	+5 +2	+5 +2	篠山市 NOTE
③ 着地型観光 (暮らしツーリズム)	・農業体験、文化体験プログラム ・レンタサイクル「えこりん」事業	多数 継続	⇒⇒ 拡充	⇒⇒ ⇒⇒	ROOT NOTE
■推進体制の整備					
A 事業協同組合の 創設	・事業連携、サポート ・クリエイティブ産業の創設	設立	連携	⇒⇒	中小企業 等
B 地域資源の活用	・NPO 地域資源認証機構の設立 ・地域資源認証システムの運用 ・EC サイトの運営	◎設立 開発 開発	⇒⇒ ◎運用 ◎開設	⇒⇒ ⇒⇒ ⇒⇒	NOTE
C 篠山職人大学校 (仮称)の開設	・学舎の整備(廃校活用) ・教員参加要請、生徒募集	計画 準備	整備 プレ開校	◎開校	協同組合
■その他事業					
篠山工芸フォーラム (仮称)の開催	・実行委員会設置、企画等 ※工芸の祭典(ビエンナーレ)	◎開催	-	◎開催	協同組合
城下町活性化事業	・フリンジ駐車場の整備 ・病院跡地の活用 ・町並み整備(街灯、無電柱化等) ・城下町ブライダル事業	計画 計画 計画 実施	◎整備 調整 ◎整備 拡充	運用 ◎整備 ◎整備 ⇒⇒	未定 未定 未定 NOTE
生活交通の確保	・コミュニティ輸送事業	1地区	+2	+2	まち協等

8 評価項目	
8-1 国策への寄与	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定政策課題の一体的・総合的な解決を目指している。 ・ 農村、中山間地、山村、漁村などの地域再生に広く適用できる。 ・ 他地域で、空き家活用手法、地域資源認証システムなどが活用できる。
8-2 取組の先駆性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国的な課題である「空き家活用」について、独自手法の公民連携事業を実施しており、この取り組みを敷衍していく。 ・ 「空き家活用」「6次産業化」「着地型観光」の3事業を、一体的に産業化する手法を採用している。
8-3 多様な主体	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの活動の延長線上で、建築関係、工芸関係、デザイン関係、まちづくり関係、地元コミュニティなどの多様な主体と協働していくことが可能である。 ・ 異業種混合型の事業協同組合を計画している。
8-4 事業の熟度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「空き家活用」「6次産業化」「着地型観光」に関する公民連携事業を既に試行している。 ・ これまでの活動の延長線上で、地域内外の多様な主体と協働・連携していくことが可能である。 ・ この10月12日に設置した「篠山市創造都市推進委員会」が本調査の実施機関となる。また、本計画書で提示した検討の方向性についても、同委員会において合意を得た。
8-5 その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの事業は、自治会、まちづくり協議会などの地域コミュニティとともに取り組んできた。今後の地域再生事業でもコミュニティ再生につなげることを意識して取り組んでいく。
9 活用する規制の特例措置の内容	
<p>平成21年11月（第16次）田舎暮らし小規模民宿開業に係る規制緩和について（兵庫県提案） 平成22年6月（第18次）同上 （協議状況） 開業者を限定的にする必要があるとの指摘を受け、丹波焼などの伝統工芸品製造者、または、市と連携した地域活性化に取り組むNPO法人等に限定する案で検討中。</p>	

10 スケジュール							
項目	平成 24 年				平成 25 年		
	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
本補助金申請		提案	○ 結果発表	○ 交付決定			
地域再生計画							(案)作成●
策定調査			1 事業手法の確立 ← 素案● →				
			2-A 事業協同組合 ← ◎打合せ → ◎ ◎				
			2-B 地域資源活用策 ← ◎ ◎ ◎				
			2-C 創造人材育成 ← ◎ ◎ ◎				
			3 計画案取りまとめ ← まとめ →				
委員会				◎ 第1回		◎ 第2回	
11 調査費の内訳							
経費の区分				内訳			
委託費 (内訳) 直接人件費(統括マネジャー) 直接人件費(事業手法の確立) 直接人件費(推進体制の整備) 直接人件費(計画案まとめ) 諸経費 旅費 謝金・旅費(アドバイザー等)				<div style="background-color: black; width: 100%; height: 100%;"></div>			
需用費 (内訳) 消耗品 印刷製本費(計画書)				<div style="background-color: black; width: 100%; height: 100%;"></div>			
合計				10,180 千円			
12 その他							